



保健福祉課からのお知らせ

問 保健福祉課 健康増進係 ☎ 476-1111 (131)

◆町内保育所（園）・幼稚園でフッ化物洗口が始まりました。【健康増進係】

大崎町の子どもたちのむし歯の実態を平成22年の歯科健診の結果でみると1歳6か月という乳歯の生えそわらない年齢からむし歯の割合が全国と比べて5倍、県平均の2倍という状況で、県内の市町村ではワースト3という悪い結果です。3歳児でも全国の2倍、12歳児（中学1年生）の一人平均むし歯数も全国の5倍というひどい状況です。

町ではこの実態の打開策の第一段階として、平成24年度にむし歯予防効果の高い集団フッ化物洗口に取り組むことになりました。この集団フッ化物洗口は、県内の保育園の43%、幼稚園20%が実施しています。

対象は町内6か所の保育所（園）と1か所の幼稚園の4～5歳児（年中・年長児）235名です。

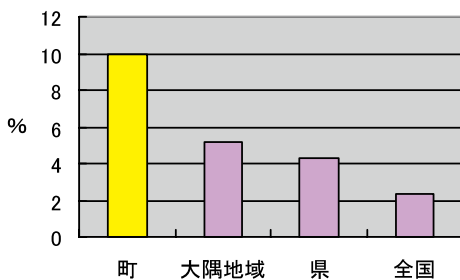
7～8月に各園担当の歯科医師の先生方にご協力いただき、7か所の保育所（園）・幼稚園の職員と保護者にそれぞれ説明会を開催しました。そして約2週間、水で1分間のブクブクうがいの練習が上手にできるようになった段階で、フッ化物（商品名：ミラノール）での洗口に移りました。

今後は、保育所（園）・幼稚園で歯科衛生士による園児へのむし歯の学習やブラッシング指導、管理栄養士や8020推進員による食育なども計画しています。

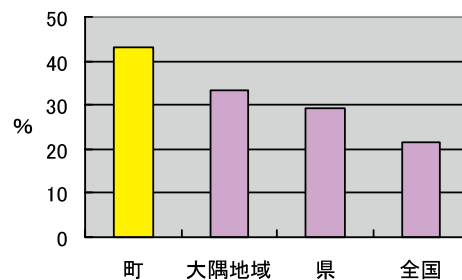
町民みんなで子どもたちをむし歯から守るために力を合せていきましょう。

大崎町の子どものむし歯の現状

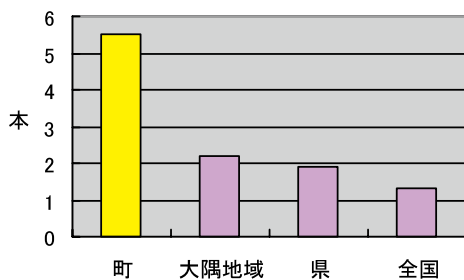
1歳6か月児のむし歯有病者率(平成22年)



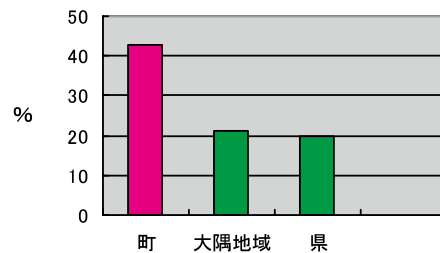
3歳児のむし歯有病者率(平成22年)



12歳児の一人平均むし歯数(平成22年)



1日3回以上間食習慣のある幼児の割合(平成22年度)



▲5歳児のフッ化物洗口の様子



▲保護者説明会



▲職員説明会

なんと8月末で  
106頭!

今年は、ウミガメが  
たくさん上陸したねー。